

## 『エネルギーの創造と活用 ～核融合と超伝導～』

エネルギーへの関心は、昨今の様々な事情から益々高まっています。エネルギーを「創造」する技術としては核融合が挙げられます。大型国際プロジェクトであるITER計画に加え、近年世界中で多数のスタートアップが誕生し、多方面から活発に研究開発が進められています。一方、エネルギーを「活用」する超伝導技術に関する研究開発も着実に進展しています。本研究会では、これらエネルギーの創造と活用を目指した核融合と超伝導に関する最新技術の進展についてご講演いただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



参加申込みフォーム

- 主催: 応用物理学会 超伝導分科会
- 協賛: 低温工学・超電導学会、プラズマ・核融合学会、電気学会
- 日時: 2022年12月21日(水) 13:00～16:25
- 場所: オンライン開催

プログラム (講演タイトルは仮題を含む)		
13:00～13:05	開会挨拶	超伝導分科会幹事長
13:05～13:35	ITER計画の概要および進捗について	梶原 健 (量子科学技術研究開発機構)
13:35～14:05	核融合炉への適用をめざした高温超伝導マグネット開発の現状	柳 長門 (核融合科学研究所)
14:05～14:35	民間核融合スタートアップ各社と京都フュージョニアリングの動向、および各社の超伝導技術	世古 圭 (京都フュージョニアリング)
14:35～14:50 休憩		
14:50～15:20	カーボンニュートラル社会における超電導回転機の貢献の可能性	寺尾 悠 (東京大学)
15:20～15:50	鉄道用超電導フライホイールの開発および実証試験	西 健太郎 (JR 東日本)
15:50～16:20	再生可能エネルギーの主力電源化の鍵となるエネルギー貯蔵機能付き超伝導ケーブルの開発	東川 甲平 (九州大学)
16:20～16:25	閉会挨拶	超伝導分科会幹事

参加費 (消費税込、資料代込): 超伝導分科会会員 2,000 円、応用物理学会および協賛団体会員 3,000 円、非会員 4,000 円、学生 1,000 円

申し込み方法: 12月19日(月)までに、超伝導分科会 HP <https://annex.jsap.or.jp/support/division/super/> にある研究会参加申込フォーム (上記のQRコード) にて、(1) 所属、(2) 氏名、(3) 連絡先(TEL, E-mail)、(4) 会員種別を記入してお申し込み下さい。

問合せ先: 井上 昌睦 (福岡工大) e-mail: [ms-inoue@fit.ac.jp](mailto:ms-inoue@fit.ac.jp)  
 馬渡 康徳 (産総研) e-mail: [y.mawatari@aist.go.jp](mailto:y.mawatari@aist.go.jp)  
 飯田 和昌 (日本大) e-mail: [iida.kazumasa@nihon-u.ac.jp](mailto:iida.kazumasa@nihon-u.ac.jp)  
 堀出 朋哉 (九州工大) e-mail: [horide@post.matsc.kyutech.ac.jp](mailto:horide@post.matsc.kyutech.ac.jp)